



学校だより

# 子どもの未来をみんなで創る

令和7年度 5月号

神奈川県立相模原中央支援学校

## 新緑が美しい季節となりました

冬の時期を待った木々が芽吹き、鮮やかな新緑が五月晴れに映える季節となりました。毎年、新緑の季節を迎えると、新年度の緊張から少し慣れ、緑に目を向ける余裕が出てきます。また、木々の命の息吹を感じ、大きなパワーをもらっているような気がします。

この4月、津久井支援学校からまいりました教頭の金森です。同じ相模原の学校に着任し、多くの方々との新たな出会いをとても嬉しく思っています。相模原中央支援学校とはこの地が緑風園だった頃、教員となってまだ間もなかった私がこの前の道を通って通勤していたことがご縁の始まりだったような気がします。とても懐かしく思い出されます。そして本校が開校してすぐに交流学習として当時の座間養護学校の生徒とともに訪れたことも昨日のことのようです。

新年度が始まって約1か月が経ち、幼児・児童・生徒は新しい友だちや教員にも慣れ、いきいきと学校生活を送る姿が見られます。校舎内には、元気な声や明るい笑顔であふれています。お子様の「わかった!」「できた!」「たのしい!」の喜びを増やし、可能性を広げていけるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

(教頭:金森 紀子)

### 「つながり」を意識した指導・支援

特別支援学校では様々なツールを用いて、「つながり」を意識した指導・支援を行っています。

#### ○個別教育計画

一人ひとりの個性やニーズ、実態に応じた教育目標の達成を目指して、短期、中期、長期的な視点で計画します。

#### ○支援シート

次の所属機関に対して、これまでの支援内容を伝え、幼児・児童・生徒が新しい環境にスムーズに適応できることを目的に作成します。本校でも3年ごとや転入学の際に作成しています。

他にもキャリアパスポートや日々の連絡帳のやり取りを活用して、「つながり」を意識した指導・支援に取り組んでおります。個別教育計画や支援シートは教務グループの業務内容の一部となっており、御不明な点等ありましたらお気軽にお声かけください。

(教務グループ部長:福田 寛)

### チームより 安心・安全な学校生活づくり

#### 【通学支援チーム】

幼児・児童・生徒の登下校を安全に行えるよう環境を整えていく業務を担っています。自力通学を希望する児童・生徒に関しては、保護者と協力し、安全に登下校できることを見極めたうえで自力での通学を開始しています。各学期初めには、学校近辺で教員による見守りを行い、課題点等があった場合には必要な指導を行っています。

本校のスクールバスは8コースあり、3つの会社が運行にあたっています。通学支援チームでは車内の座席配置や運行ルート等を検討し、各運行会社と連絡を取り合い、安全な運行に努めています。スクールバス利用においての御意見等は、担任を通じて通学支援チームまでお知らせください。

(通学支援チーム:三輪 真之)